

かかみがはらの埋文

平成 17 年度

各務原市埋蔵文化財調査センター年報 第 14 号



溝の中から姿を現した多量の古代瓦



取上げ直後の軒丸瓦



発掘される多種の瓦

埋蔵文化財発掘調査

山田寺跡第一次範囲確認調査 5月～8月

山田寺跡は、7世紀後半に造られた市内で最も古い寺院の遺跡の一つです。本年度から、山田寺跡の範囲や状態を調査するために、3年計画の発掘調査に着手しました。山田寺は、各務原市蘇原地域に集中する古代寺院のなかでは一番規模が大きく、長く存続した寺と考えられ注目されています。明治初期の開墾や、これまでの工事などで貴重な遺物が発見されていますが、いよいよ本格的な発掘調査が始まりました。

本年度の調査では、お堂が建ち並んでいた伽藍を区画すると考えられる幅2.4m、深さ70cmの溝を発見しました。この溝の位置から伽藍の北端が概ね確定し、全体の範囲が推定できるようになりました。

溝の内部からは、貴重な軒丸瓦をはじめとする多量の瓦が出土しました。

次年度以降の調査が期待されます。

山田寺跡範囲確認調査

現地説明会 8月6日(土) 10時～12時



矢印の部分が、伽藍を区画する溝の一部です。途中で途切れている状態で確認されました。



担当学芸員の説明に、熱心に耳を傾けていただきました。



子供たちも興味津々。



ベンガラが付着した瓦 瓦を支える建物の木材に塗られていたベンガラが付着していました。

この日は、とても暑い夏の日でした。発掘調査の完了した状態と、出土品の一部を市民の皆様に見ていただきました。

出土品のなかで、特に赤いベンガラが付着した瓦に注目が集まりました。

参加者の声より

「周辺の土地から古い瓦がたくさん出ることは知っていたが、実際にお寺があった場所が発掘されて納得できた。」

「この場所に、朱色に塗られた塔などの建物があったとは想像したことがなく、とても驚きました。」

出土遺物整理作業

- ・ 炉畑遺跡B地区(鷺沼三ツ池町) 報告書を刊行しました。
- ・ 広畑野口遺跡(蘇原野口町他) 平成13～14年度に、道路の拡幅工事に先駆けて調査した遺跡です。美濃国刻印須恵器などの実測図作成を進めました。

出土遺物化学処理

広畑野口遺跡出土 金属製品保存処理

釘・刀子などを錆から守るために、保存処理を施しました。

発掘調査報告書・リーフレット刊行

・44号『炉畑遺跡B地区発掘調査報告書』

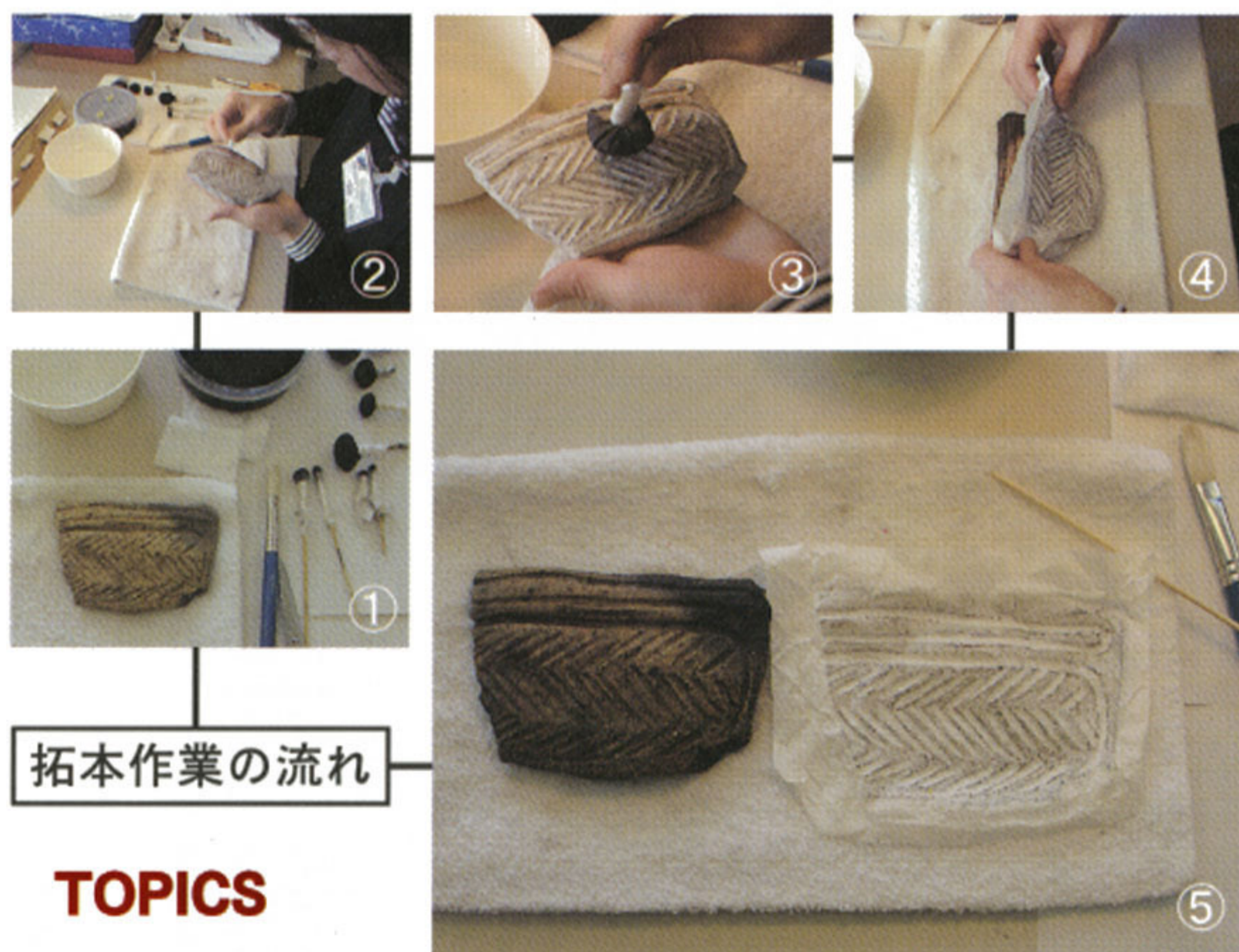
炉畑遺跡公園のリニューアル工事に先駆けて、平成14年度に発掘調査しました。多数の縄文土器や石器、貯蔵穴や粘土採掘坑、掘立柱建物跡、石囲い炉などを確認しました。炉畑集落全体の姿がわかってきました。 頒布中

・リーフレット「炉畑遺跡」

A・B両地区の発掘成果を合わせて、炉畑遺跡を解説しました。

無料配布しています。

お求めは埋蔵文化財調査センターまで



拓本作業の流れ

TOPICS

○拓本作業

縄文土器の文様を、拓本という手法を用いて写し取ります。

- ① 拓本を取る縄文土器と作業道具。
- ② 和紙を水で湿らせて、縄文土器の表面に貼り、脱脂綿などを使って文様の凹凸に馴染ませます。この時、気泡が入ったり、シワがよったり、破れたりしないよう注意が必要です。
- ③ 完全に乾燥してしまわない程度で、タンポを使って墨を叩くようにして押ししていきます。
- ④ 紙が破れないよう注意して土器から剥がし、綺麗に伸ばします。
- ⑤ こうして完成した拓本は、縄文土器を文様から研究するための資料となります。

木曾川学歴史講座

第7回 かかみ野古代史紀行

テーマ：かかみ野を開拓した稲作文化 弥生時代

10月27日「伊勢湾弥生文化の交流と変革」

愛知県埋蔵文化財センター 石黒立人氏

11月 1日「縄文から弥生へ」

県立各務原高等学校 藤田英博氏

11月11日「美濃北部の弥生文化」

美濃市教育委員会 高木宏和氏

11月18日「美濃平野部の弥生文化」

大垣市教育委員会 鈴木 元氏

11月22日「弥生から古墳へ」

県立多治見工業高等学校 松岡千年氏

計5回実施 定員制 受講申込32名

講座のようす
(第3回 高木氏)



かかみ野古代史紀行
講義録2～6
好評頒布中 各500円

体験講座

「古代火おこし」

7～8月 毎週土曜日 (一般) 参加者19名

「石器づくり」

7～8月 毎週土曜日 (小学5年生以上) 参加者15名

「まが玉づくり (滑石)」

7月21日、8月3日 (一般) 参加者33名

勾玉づくり指導者講習会 (滑石)

8月10日、8月18日 (一般) 参加者5名



展示収蔵庫

- ・企画展「山田寺跡から出土した古代瓦」
- ・速報展「山田寺跡第一次範囲確認調査」



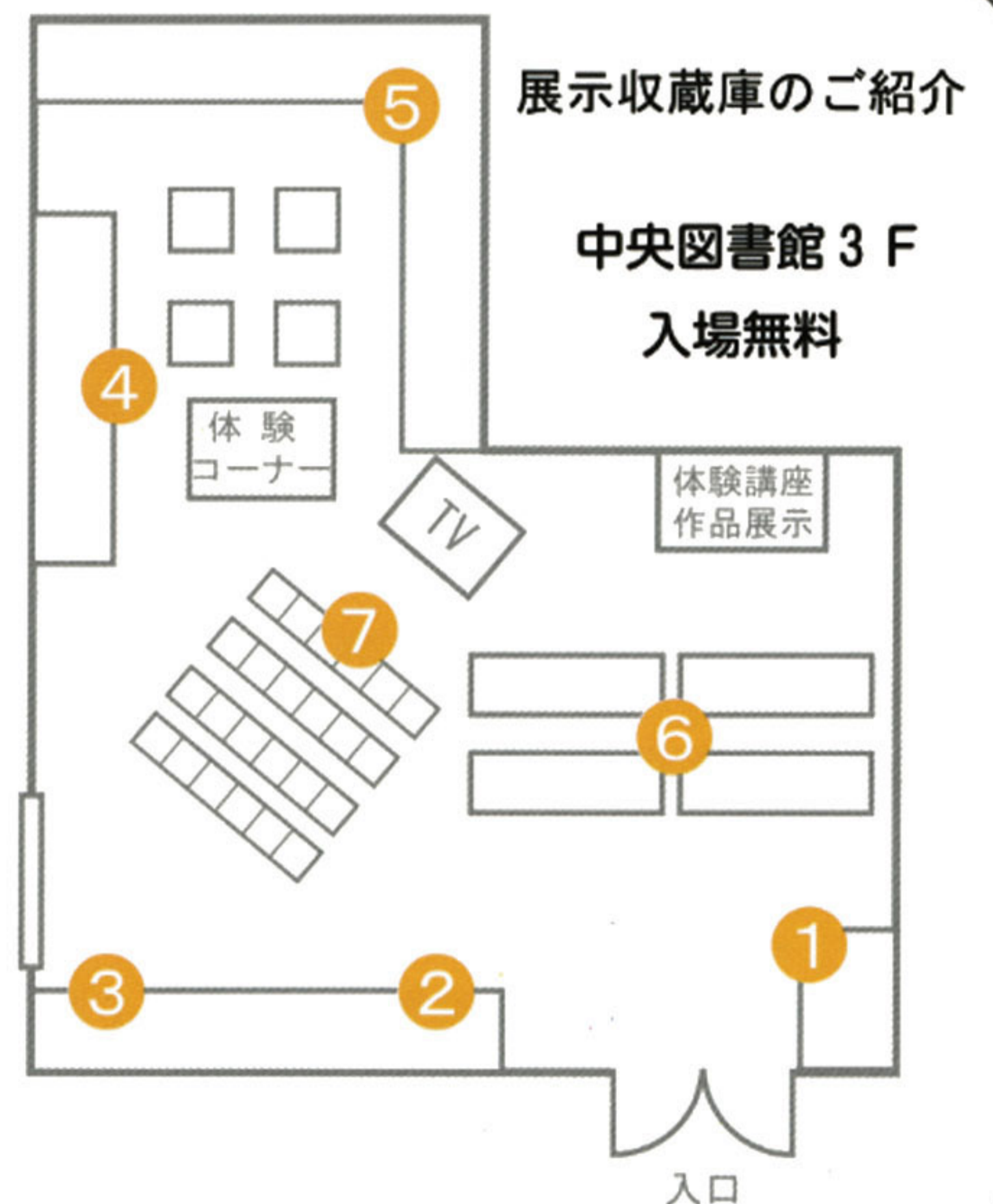
⑥速報展「山田寺跡第一次範囲確認調査」の様子

●常設展示

- ① 旧石器時代
- ② 縄文時代
- ③ 弥生時代
- ④ 古墳時代
- ⑤ 奈良時代以降

●特別展示・その他

- ⑥ 企画展・速報展
- ⑦ ビデオコーナー



職場体験の受入れ

今年は、中学校・高等学校から9名の生徒を受入れました。発掘調査や山田寺跡出土品の水洗い、炉畑遺跡の縄文土器の拓本などを手伝っていただきました。

皆さんにとって、文化財に触れる機会は今回が初めてでした。文化財の大切さとともに、文化財を調査・研究する業務について、理解を深めていただけたと思います。



今年のデータ

○団体見学

- 4月14日 鶉沼第二小学校6年生 98名
- 10月27日 成人講座 20名
- 1月12日 守山市立埋蔵文化財センター
友の会 50名

○受領図書

1,267冊 (3月1日現在)

○学校への協力

- 6月29日～7月1日
県立各務原高校インターンシップ受け入れ 4名
- 11月10日・11日
那加中学校職場体験受け入れ 2名
- 12月21日
稲羽中学校1年生総合学習
「地域から学ぶ」 27名
- 2月2日・3日
桜丘中学校1年生職場体験受け入れ 2名
- 2月15・16日
岐阜豊学校職場体験受け入れ 1名

○その他の協力

- 9月6日
出土遺物見学・実測 京都府立大学 1名
- 12月3日
出土遺物調査 豊橋市美術博物館 1名
- 12月8日
地方行政実務研修 文部科学省 1名
- 12月22・23日
出土遺物調査 斎宮歴史博物館 1名
- 2月10日
出土遺物調査 筑波大学考古学研究室 3名
- 3月2・3日
出土遺物調査 斎宮歴史博物館 1名
- 3月9日
出土遺物調査
(財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1名

○資料貸出 (貸出期間)

- 4月1日～3月31日
愛知県陶磁資料館 常設展
「猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展」
蘇原中屋敷1号窯出土須恵器等貸出 (継続)
- 9月12日～11月18日
名古屋市博物館 特別展
「古墳はなぜつくられたのかー古代濃尾の王と民衆ー」
大牧1号墳出土馬具等貸出
- 8月中旬～9月上旬
タリイピアセンター歴史民俗資料館 企画展
「遺跡が語る古代美濃国展」
須衛天狗谷古窯群7号窯跡焼成室内写真貸出
- 9月上旬～12月上旬
タリイピアセンター歴史民俗資料館 企画展
「遺跡が語る古代美濃国展」
須衛天狗谷古窯群7号窯跡出土須恵器等貸出
- 11月25日～3月10日
四日市市立博物館 企画展
「聖武東遊ー騎馬軍団東へー」
山田寺跡出土軒丸瓦等貸出
- 3月14日～3月24日
岐阜県博物館 展示コンテンツ
炉畑遺跡等の写真

「かかみがはらの埋文」第14号 平成18年3月
各務原市埋蔵文化財調査センター
〒504-0911 岐阜県各務原市那加門前町3-1-3
各務原市中央図書館3F
TEL 058(383)1123 FAX 058(371)1145
<http://www.city.kakamigahara.gifu.jp/maibun>